

ハートランド通信

ぐらんぽぐらんま

第24号

平成25年1月

発行
介護老人保健施設
ハートランド・ぐらんぽぐらんま
広報企画部

新年明けましておめでとうございます



施設長 山本一章

日頃より、ぐらんぽぐらんまの運営にご理解とご協力を賜わり心よりお礼申しあげます。

さて、当施設では、老健本来の使命である「在宅復帰」を合言葉に、次のような取り組みを始めました。

例えば、出来るだけ認知症の進行を抑制するための活動として、4丁目を映画鑑賞やゲーム、カラオケなどを行なえる場にしました。5丁目では、比較的医療依存度の高い方を集中的に対応出来るようにしました。そして、6丁目では、日常生活の中でリハビリができるよう、リハビリ科やフロアの専門職で力を入れています。

このように、皆様の大切なご家族が住み慣れたご自宅へお帰りいただけるように努力してまいります。しかし、在宅に戻られて身体機能のレベルが低下したり、ご家族が介護で疲れたりされた時には、いつでも当施設に戻っていただけるように準備しております。今後も在宅と行き来できる施設を目指してまいります。

本年もぐらんぽぐらんまを宜しくお願い申しあげます。

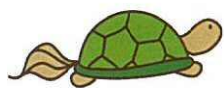


「在宅療養支援老健」になりました

副施設長 根本伊左夫

昨年、国は老健に対して「ご利用者の自立支援と在宅復帰支援を強化」するよう方針を打ち出しました。その中で老健をご利用者の在宅復帰率が50%以上(在宅復帰強化型の老健)と30%以上(在宅療養支援の老健)、さらに、それ以下の老健と3つのタイプに分けることになりました。

ぐらんぽぐらんまは、昨年11月から「在宅復帰療養支援老健」(在宅復帰率30%以上)として承認を受けました。私達は、今後さらにご利用者の自立と在宅復帰を支援して参ります。



在宅復帰支援の取り組み例を いくつかご紹介させていただきます



カンファレンス

各専門職が情報を持ち寄り、入所時と入所後に定期的に、ご本人・ご家族を含めた話し合いの場を持ち、在宅復帰に向けて具体的なケアプランを立案しています。

在宅復帰後のサポート

通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等のサービス提供を通じて、ご自宅へ戻られた後の支援も強化して行っております。



生活リハビリ

ご自身で身の回りのことができるように、生活場面でのリハビリを行っていただき、自立支援を図っています。

- 《移動》 フロア内での歩行練習
- 《排泄》 パットの自己管理
- 《食事》 自助箸・食器の使用
- 《入浴》 着替えの準備、洗身
- 《服薬》 自己管理の練習

家族支援

介助方法のアドバイスや栄養指導をご要望にあわせ、実施しております。

訪問指導の実践

ご自宅に帰ってからの生活を想定して、入所中のケアとリハビリを提供するため、ご自宅へ訪問させていただき、在宅環境の確認をさせていただいております。

施設行事

入所 1月21日(月)お茶会
27日(日)誕生会
2月 6日(水)寿司レストラン
17日(日)誕生会
18日(月)お茶会

通所 1月21日(月)お茶会
2月18日(月)お茶会
2月未定 節分

※音楽クラブ・習字・朗読・料理クラブ等
毎月の行事も行います。

**本年も職員一同力を合わせ
頑張ってまいりますので
どうぞ宜しくお願いします**

